

事業番号	09 04 36	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	BSE監視検査事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H14 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	牛海綿状脳症 (BSE) の摘発と疫学情報を収集し、BSEの人への感染リスクが無視できる状況を維持する。				
現状 (予算編成時)	○平成21年1月を最後に国内での発生はなく、国際機関 (OIE: 国際獣疫事務局) から、BSEのリスクが無視できる国に認定されている。 ○死亡牛は、BSEに罹患している可能性が高く、死亡牛のBSE検査は、BSEを管理 (監視) するために効率的である。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 牛海綿状脳症対策特別措置法により県が実施することとなっている。			
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)				
	48か月齢以上の死亡牛のBSE検査を実施し、BSEの摘発と疫学情報を収集する。 ・BSE検査数 対象牛に対して100%実施				
	② 事業内容 (単位: 千円)				
		項目	実施方法	H28事業実績	
			H28		
			(当初)	(決算)	H29 (当初)
	BSE監視検査事業	直接	48か月齢以上の死亡牛全頭のBSE検査を実施し、本疾病の発生状況の把握及びまん延防止に努めた		10,600
			8,782	7,941	
			合計		10,600
			8,782	7,941	

事業コスト	区分 (単位: 千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標			
		当初予算	10,400	8,782	10,600				目標	成果	達成状況				
		補正予算	0						BSE検査数	対象牛に対して100%実施	対象牛に対して100%実施		対象牛に対して100%実施	達成	-
		合計 (A)	10,400	8,782	10,600										
	Aの財源	一般財源	1,333	989	1,470	乳牛1頭当たり生乳量	-	8,848kg	-	8,753kg	-	8,941kg			
		県債	0	0		信州プレミアム牛肉の認定頭数	-	3,242頭	-	3,477頭	-	3,700頭			
		国庫支出金	2,775	2,272	2,762										
		その他	6,292	5,521	6,368										
	決算額 (B)	7,545	7,941												
概算人件費	職員数 (人)	2.50	2.5	2.50											
	概算人件費 (C)	20,690	19,785	19,785											
概算事業費 (B(A)+C)	28,235	27,726	30,385												

目標に対する成果の状況	・48か月齢以上の死亡牛全頭のBSE検査を実施し、BSEの摘発と情報収集に努めた結果、県内の牛では摘発がなく、牛肉が安全であることを確認することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、検査対象牛 (48か月齢以上の死亡牛) について実施する。